

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

8月号

【サポートデスクメニュー】

□海外展開に関する相談 □各種調査・情報提供 □セミナー開催 □販路開拓・商談サポート支援 □展示会出展支援

個別相談をお受けしております！

中小企業の皆様、海外展開のお悩み等がございましたら、お気軽にサポートデスクへご相談ください！
現地の情報提供から、販路先の開拓等、各種サポートメニューをご利用くださいませ。

今月のデスク活動



第1回 山口県海外ビジネスデスク「海外展開支援」セミナーを開催しました！

2024年7月12日、山口グランドホテルとオンライン同時配信のハイブリット形式で、第1回山口県海外ビジネスデスク「海外展開支援」セミナーを開催しました。

シンガポールデスク NIHON ASSIST SINGAPORE PTE.LTD.の関代表が、「中小企業が海外展開に取り組む上でのポイントと事例紹介」について講演。また、台湾デスクからは半導体産業に詳しい講師が「半導体産業の現況及び今後の動向」をお話ししました。

山口県内の中小企業や関係者28名が参加し、今後の事業展開に役立つ情報を提供できたことを嬉しく思います。

参加できなかった企業様へ

セミナー内容にご興味があったものの予定が合わずに当日参加できなかった企業様は、(公財)やまぐち産業振興財団までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

公益財団法人やまぐち産業振興財団

電話：083-902-3722 担当者：平山様

半導体分野の国際展示会「SEMICON TAIWAN2024」出展準備中！

出展企業5社を対象に、事前マッチングを個別オンラインで打ち合わせ中です。会期前までの事前準備が成功の鍵ですので、出展企業様と協力しあい、万全の準備を進めています。

食品分野 シンガポールで開催される見本市「フード&ホテル・アジア HoReCa 2024」へ出展します！

山口県内の中小企業の販路拡大を目指し、シンガポールで開催される見本市「フード&ホテル・アジア HoReCa 2024」に共同出展します。※詳細は公益財団法人やまぐち産業振興財団 HP をご参照ください。

・展示会名：フード&ホテル・アジア HoReCa 2024【10月22日(火)～25日(金)(4日間)】

デスクのご利用事例

山口県内の企業から、孟宗竹を使用した「スキンケア、洗濯洗剤の製造・販売」に関するご相談がありました。この企業はこれまで日本以外に販路がなく、今後はベトナムや台湾への販路開拓を目指しています。

⇒利用メニュー 海外展開に関する相談、各種情報収集、販路開拓

サポートデスクとオンラインミーティングを行い、今後、対象国・地域別の基本情報、市場情報などを提供予定。

現地のことを知り、自社の強みを把握することが不可欠です。確実な第一歩を踏み出し、今後の販路構築につなげていただきたいと思えます。

お気軽にご相談ください！

「海外での販路開拓って、どこから始めれば良いのかわからない」という企業様も多いかと思えます。どんなお悩みでも結構です。気になることがあれば、ぜひお気軽にご相談ください！

(文責：株式会社日本アシスト 張)

現地からお届け！ 最旬情報 -マレーシア編-

現地の生の情報がリアルタイムでお伝えしていきます！

毎月各国・地域の「旬」な情報を現地からお届けいたします！

第2回はマレーシアオフィスよりお届け。

～マレーシア・シンガポールの経済的なつながりはどうなのか？

～マレーシア経済の今後と課題は何なのか？

...

そんな皆様が気になる疑問にお答えします。

マレーシアとシンガポールをつなぐインフラプロジェクト

シンガポールとマレーシア南端のジョホール州の間は、陸路で出入国が可能であることはよく知られており、シンガポールの居住者も気軽にゴルフなど日帰りでいけるような距離感であり、筆者もよくシンガポールからの往來をよくしている地域である。

この両国の間を国境を越えた経済連携を強化するための新たなインフラプロジェクトに着手している。これは現在進行中のシンガポールとマレーシア南端を結ぶ高速輸送システム（RTSリンク）と呼ばれるものであり、両国の間をわずか5分で結ぶ通勤鉄道で、2026年末の開業を目指している。工事は既に約80%完了しており、ジョホール州南部に設立予定の経済特区と連携して、地域の経済発展が期待されている。

RTSリンクの特徴と利点

RTSリンクは、シンガポールのウッドランズノース駅とジョホール州のブキットチャガル駅を結ぶ全長4キロメートルの軽量鉄道となる。この鉄道の大きな特徴は、出発駅で一度だけ出入国手続きを済ませればよいことと、双方向で毎時1万人の輸送が可能になることである。また、マレーシア側からもシンガポールの既存の地下鉄網に乗り継ぎができ、マレーシアからの通勤が可能となり一層便利になる。現状では、自動車やバス、バイクによる移動が主流であり、これらの交通手段の慢性的な渋滞がRTSリンクの開通により、大幅に緩和されると見込まれている。

経済効果と不動産市場とジョホール・シンガポール経済特区の展望

RTS リンクの開通により、ジョホールバルのブキットチャガル駅周辺の住宅価格が急騰している。RHB 投資銀行の不動産アナリストによると、コロナ禍後、新築分譲価格は 3~4 割上昇し、賃貸物件の家賃も倍増している。筆者も高騰するシンガポールの物価に辟易した方々が拠点をジョホールバルに移し、そこから RTS リンクを使いシンガポールで勤務するという生活スタイルも増えるのであろうと予測する。

シンガポールとマレーシア政府は、「ジョホール・シンガポール経済特区」の開発に合意し、詳細を現在策定中である。この特区は 3500 平方キロメートルの広さをもち、物流、医療、金融サービス、電子製造など多岐にわたる分野で振興が計画されている。さらに、貨物手続きの簡素化やパスポート不要の移動、税制優遇も検討されている。

シンガポールの企業にとって、広大な土地と低コスト労働力を持つジョホールは非常に魅力的だ。両国が連携することで、外資企業の誘致も進み、特に米中摩擦の影響で企業の脱中国が進む中、マレーシアへの直接投資が増加している。

課題と今後の展望

シンガポール・ビジネス連盟（SBF）が主催した「ジョホール・シンガポール経済特区投資家フォーラム」には多くの中小企業オーナーが参加し、具体的な意見交換が行われた。しかし、ユニテッド・オーバーシーズ銀行（UOB）のエコノミストは特区の潜在性を評価しつつも、産業に見合った人材の確保が重要だと指摘している。人材育成や両国間の規制の調整など、まだ多くの課題が残されている。

RTS リンクと経済特区の開発は、シンガポールとマレーシアの経済連携を強化し、地域の経済発展に大きく貢献するだろう。これらのプロジェクトが成功することで、新たなビジネスチャンスと経済成長が期待されている。

（文責：日本アシストシンガポール 関 泰二 鹿野 真世）

